

平成20年12月3日  
20自部工国第61号

会員企業 代表者 各位

(社) 日本自動車部品工業会  
副会長・専務理事 高橋 武秀

「自社の技術情報の流出を防ぐためのてびき」書説明会開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当会の活動にご理解ご協力を賜り誠に有難うございます。

さて、会員各位におかれましては自動車産業のグローバル化に伴い海外拠点を設置する例が増加しておりますが、その海外拠点から自社で研究開発された機密情報が、外部に流出するというような事例も散見されております。

そのため、当工業会知的財産権部会では平成19年7月よりその問題に対応するためのWGを設置し検討を進めてまいりましたが、今回、その検討結果の取りまとめとして、「手引き書」を作成いたしました。

今回、当該「手引き書」の解説を目的とした説明会を開催させていただくこととなりました。技術情報を開示する際のリスク、留意点、対策等について説明させていただく予定でございます。

会員の皆様で同テーマに関しご関心ある方、特に日本本社において海外拠点/海外企業への技術情報開示に関わっている方は是非参加ご検討頂きたく、宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

I. 日時・会場

① **東京会場**

日時 : 2009年1月23日(金) 13:30~16:30  
場所 : 自動車部品会館 第1会議室(6階)  
TEL : 03-3445-4213 (添付地図参照)

② **名古屋会場**

日時 : 2009年1月27日(火) 13:30~16:30  
場所 : 名古屋栄ビル 特別会議室(12階)(添付地図参照)  
TEL : 052-971-5230 (社)日本自動車部品工業会 中部支部事務局直通

## II. 講演内容（予定）

配布資料「自社の技術情報の流出を防ぐためのてびき」書を使用の上、下記事項のポイントにつき説明を行います。

1. 技術情報はどのようなルートで外部に流出していくか
2. 技術情報を開示する場合において、以下のような技術情報の開示（漏洩）先別に、どのような情報流出リスクがあるか、その対策・留意点は何か  
～中国を中心として～
  - ①現職従業員
  - ②転退職者
  - ③仕入先
  - ④顧客
  - ⑤ライセンシー
  - ⑥開発パートナー
  - ⑦特許事務所
  - ⑧合弁パートナー／合弁会社
  - ⑨不正な第三者
  - ⑩製造設備のメンテナンス会社
3. 秘密情報流出に関連する法律 ～中国を中心として～
4. 秘密情報流出に関連する重要判例 ～中国を中心として～

なお、併せて部工会・知的財産権部会の本年度の活動についても紹介させていただく予定です。

## III. 参加対象者

日本本社において海外拠点／海外企業への技術情報開示に関わっている方。（国内拠点（子会社等）／国内企業への技術情報開示に関わっている方にも参考になると思われます。）

具体的には、

- ・海外拠点の人事管理業務に関わっている方
- ・海外拠点の調達業務に関わっている方
- ・海外拠点の販売業務に関わっている方
- ・海外拠点の設備保守業務に関わっている方
- ・海外企業への技術ライセンスに関わっている方
- ・海外企業との開発業務に関わっている方
- ・海外企業との合弁プロジェクトに関わっている方

## IV. 講師（予定）

㈱小糸製作所 知的財産部 技師補 高塚 康氏

㈱デンソー 知的財産部 担当部員 中西 泰久氏

## V. お申し込み方法：

添付申し込み用紙にご記入の上、FAXにて回答願います。

VI. お問い合わせ先 （社）日本自動車部品工業会 国際部 Tel: 03-3445-4213

山本（内容について） 義岡（出欠について）

E-mail: yamamoto@japia.or.jp yoshioka@japia.or.jp

以上